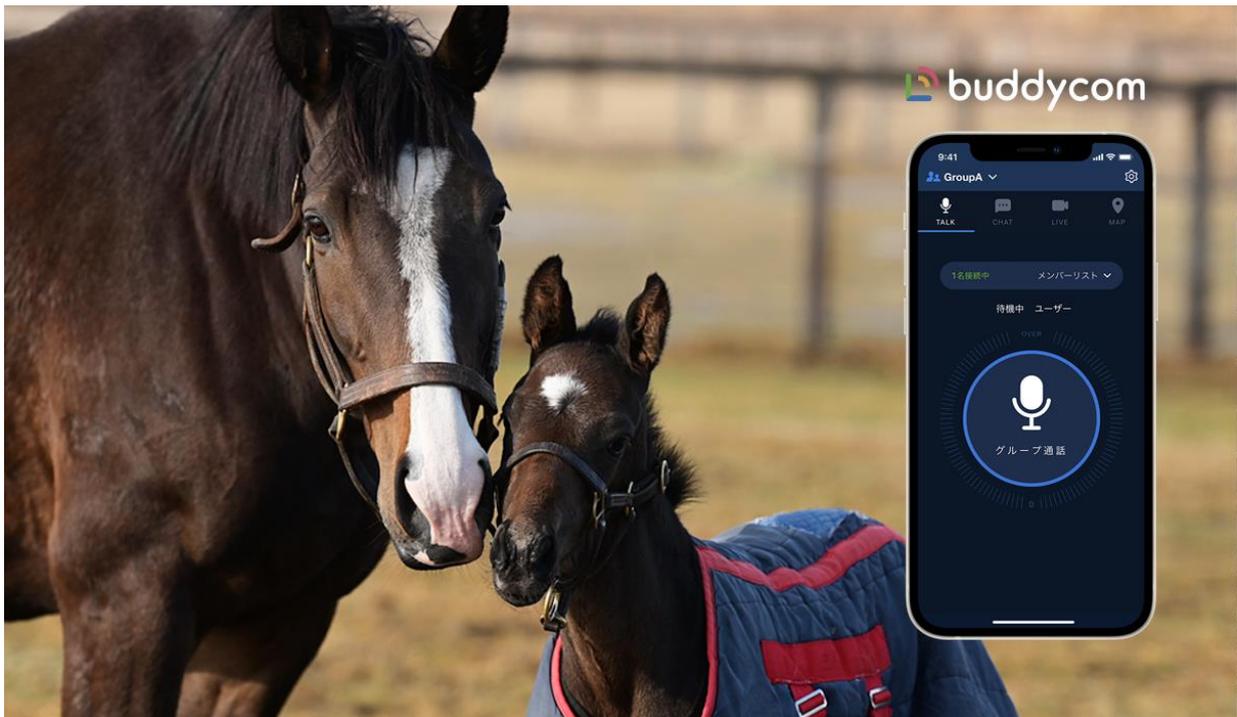


社台コーポレーション、リコージャパンから Buddycom を導入

～三冠馬を輩出した日本有数の牧場で採用。通話内容の自動録音・再生により、非効率な業務を改善～

株式会社サイエンスアーツ（所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：平岡 秀一）が提供するデスクレスワークをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom（バディコム）」が、有限会社社台コーポレーション（所在地：北海道勇払郡、代表：吉田 照哉）の運営する白老ファームと白老ファーム Yearling ヘリコージャパンより導入されたことをお知らせします。



【利用シーン】

社台コーポレーションでは白老ファームと白老ファーム Yearling の 2 部門で Buddycom を利用しています。白老ファームでは、5 つの厩舎に 1～2ID ずつアカウントを配布しており、馬の引越し時や、獣医の先生が移動する前に、「今から行きます」と連絡したり、準備の依頼をするほか、人の応援要請で活用しています。Yearling では馬主・調教師などの来場が多いため、「今から A の厩舎に〇〇様がいらっしゃいます」と言った来場対応で活用しています。

業界的にも歴史があるので、スタッフの中には新しいものに対する抵抗感を抱く方もいらっしゃいましたが、なんだかんだスマホなので使いやすく、Buddycom の運用を定着させることが出来ました。

【Buddycom 導入のポイント】

白老ファームと白老ファーム Yearling では、無線機を以前使用していましたが、仕事柄故障が絶えず、修理代を負担に感じていたほか、修理期間中に無線機を使えないことが課題でした。

Buddycom はスマホアプリなので壊れることはなく、導入コスト・継続コストも抑えられ、経費削減につながりました。また Buddycom は話した内容が録音されるため、後から再生することができ、非効率な業務の改善につながりました。

■ Buddycom とは (<https://www.buddycom.net/ja/index.html>)



デスクワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」は、インターネット通信網（4G、5G、Wi-Fi）を利用して、スマートフォンやタブレットにアプリをインストールすることで、トランシーバーや無線機のように複数人と同時コミュニケーションを可能にするサービスです。音声、テキストチャット、動画、位置情報(IoT)に加え、AIを利用したデジタルアシスタントでのコミュニケーションが可能です。

利用実績では、航空、鉄道、建設、福祉施設、流通など様々な業種でのコミュニケーション手段として利用されています。

株式会社サイエンスアーツ について

サイエンスアーツは、「世界中の人々を美しくつなげる」をミッションとして掲げ、デスクワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」を提供しています。「Buddycom」は既に 1,000 社を超えるお客様の現場で活用されており、音声のみならず、テキスト、画像、動画、位置情報、AI などを活用することにより、あらゆる業種・業界のミッションクリティカルな現場において、新たなチームコミュニケーションを可能にするホリゾンタル×SaaS アプリケーションです。

◆ お問い合わせ先

【社名】 株式会社サイエンスアーツ

【所在地】 東京都渋谷区渋谷 1 丁目 2-5 MFPR 渋谷ビル 5F

【代表取締役社長】 平岡 秀一

【資本金】 5 千万円

【設立】 2003 年 9 月

【E-mail】 pr@science-arts.com

【Web サイト】 <https://www.buddycom.net/>